

管理者・役職者向けグループ参加セミナー 事例から考える虐待防止の具体策

－虐待の要因を改善する活動を！－

グループ参加のみのセミナーですので個人の単独参加はできません

虐待・不適切なケアが大きな問題になっています。以前は認知症利用者への対応で理性を失って起きる虐待がほとんどでしたが、最近では虐待の原因は多様です。適性が著しく欠如した職員による確信犯的な虐待や、認知症の利用者の人格を損なう行為などの虐待件数が増えているのです。本セミナーでは、最近発生した虐待事故を詳細に分析し、業務環境や手順の見直しや不適切人材への対応など具体的な対策を徹底的に検討します。また、法人または施設単位で管理者と役職者によるグループ討議形式を進めることにより、現場の虐待要因の改善について具体的な検討ができます。虐待事故は原因を把握し対策を講じることで、そのほとんどが防止可能です。法人または施設のメンバーだけのグループ討議なのでじっくりと現場に即した討議ができます。

セミナーの概要

■講義(40分)

- 虐待防止の職員研修で徹底すべきこと
- 管理者・役職者が理解しておきたい5つの虐待事故原因

■グループ討議&解説(120分)

- 理性をコントロールできずに起こる虐待
 - ・入浴前に暴れた認知症の利用者を抑えようとして手首を骨折させた
 - ・頻回に鳴る離床センサーで理性を失い認知症利用者を虐待
- 被害者意識の共有から起こる虐待
 - ・休憩室での憂さ晴らしの暴言が職場に広がりついに利用者を虐待
- 適性を著しく欠く人材の雇用が原因で起こる虐待
 - ・利用者を虐待ケガをさせ「虐待が犯罪だとは知らなかった」と言った職員
 - ・利用者に聞こえないように暴言を吐き「虐待ではない」と言う職員
- おもしろ半分の悪ふざけから起こる虐待
 - ・認知症利用者の髪にリボンを8つ付け画像をSNSにアップした職員
 - ・利用者の顔写真を加工して遊び「懲戒処分は不当」と主張する職員

■検討事例はこちら➡<http://tiny.cc/yl95yz>

※参加者は事前に事例を読んでからご参加下さい。



安全介護セミナー開催要領

■開催日時: 9月6日 13:30~16:30 (8月31日締め切り)

■主催: 株式会社安全な介護

■対象: 施設管理者・役職者など

■受講料: 1グループ 11,000円 (税込)

■定員: 20グループまで

■受講方法: Zoomによるオンライン受講

法人・施設でグループを作ってお申し込みください。1グループのPC接続台数は10台以下。

■提供資料: テキスト(手持ち資料)・お役立ちツール

■申込方法: 下記URLからお申し込みください。

<http://tiny.cc/c695yz>

講師プロフィール

山田 滋 早稲田大学法学部卒業と同時に現あいおいニッセイ同和損害保険入社。2006年7月よりインターリスク総研主席コンサルタント、2013年5月末あいおいニッセイ同和損保を退社。2014年4月より現職。高齢者施設や介護事業者と取り組み、現場で積み上げた実践に基づくリスクマネジメントの方法論は、「わかりやすく実践的」と好評。各種団体や施設の要請により年間150回のセミナーをこなす。

セミナーに関するお問い合わせは

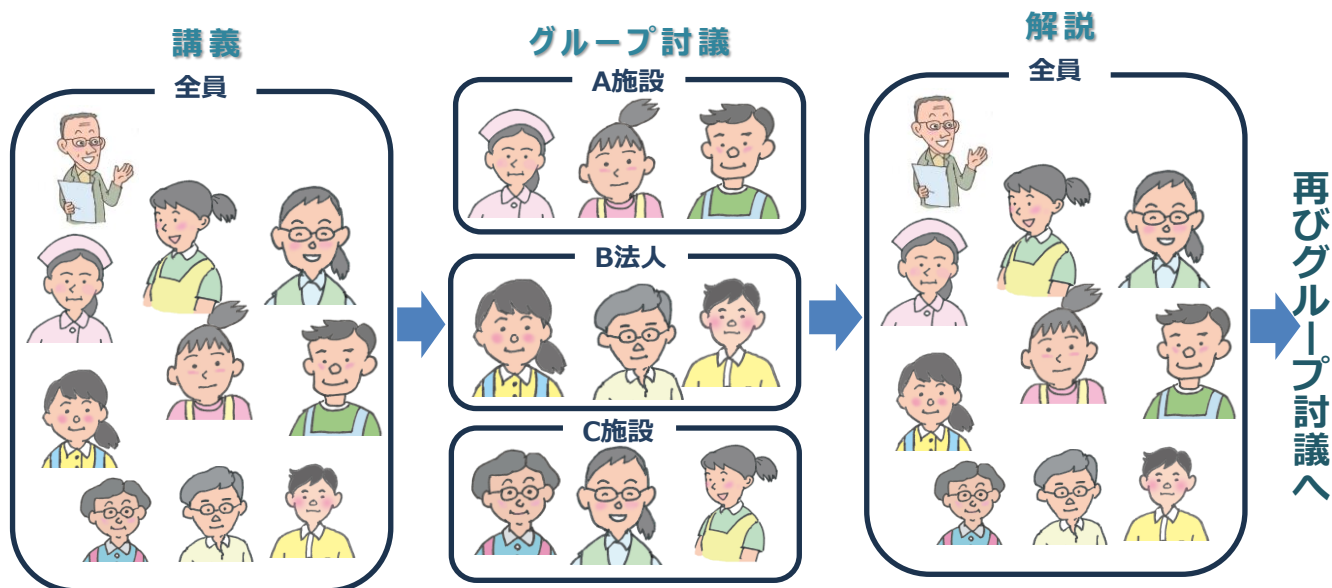
株式会社安全な介護 受付担当 澤田

mail:soudan@nanasha.co.jp TEL:03-5995-2275

オンライン・グループ参加セミナーとは？

■ 講義とグループ討議の進め方

参加者全体への講義→グループ討議→解説→グループ討議という順序を進めます。
グループはあらかじめ申込時に決めたグループごとに振り分けられます。



■ グループ討議の方法

同一の法人または施設のメンバーでグループ討議を行いますが、次の2つの方法があります。どちらでもご参加いただいても構いません。

- ① プロジェクターなどを使い、1台のPCで複数のメンバーがグループ討議を行う。
- ② 一人1台のPCを使い複数のPCでグループを作って討議を行う。

1台のPCでグループ討議を行う



複数のPCでグループ討議を行う



■ 申し込み方法・参加方法

- ① 施設または法人で参加者を決めてください。参加者の人数に上限はありません。
- ② グループ名と代表者を決めてください。
- ③ 代表者のメールアドレスで申し込んでください。
- ④ グループ代表者に接続URLを送りますので、参加者にご配布ください。
- ⑤ セミナー当日は接続PCの表示名をグループ名に変えて下さい。